

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の 該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への 反映状況等
1	P3 2 生涯学習の理念	<p>・素案では基本目標に「花巻市まちづくり基本条例」をうけて、生涯学習は市民の権利と謳っているが、これは、ユネスコの「学習権宣言」の理念を本計画に反映されたものと思う。さらにひと言いえば、私達市民は上記のような高邁な基本条例をいただいていることに誇りをもつべきではないかとも考えている。それだけ優れた条例だということです。生涯学習を市民の権利と謳っている「まちづくり基本条例」は全国的にみてもあまり例がないからです</p> <p>・そういう意味においても、ユネスコの「学習権宣言」の歴史的な背景と経緯、そしてその重要性を考えると、このフレーズはむしろ基本目標よりも、生涯学習の理念に包含して位置づけた方が理念としての精神がより高まっているのではないか。</p> <p>・素案に謳うような理念の文言はどこにでもありふれたものだが、基本的人権としての「学ぶ権利」なくしては生涯学習たり得ないということを明確に打ち出していくことで、他の自治体にはない独自性のある格調高い理念となることは必至であり、なによりも前述したように何よりも誇り高い「花巻市まちづくり基本条例」との整合性も保てるのではないか。</p>	<p>この計画の第2章の2「生涯学習の理念」は、教育基本法第3条「生涯学習の理念」を記述したものです。市民意識調査において「生涯学習」の考え方がまだまだ知られていない実態を踏まえて、第2章のはじめに生涯学習とその理念についてわかりやすく明確に示そうとしたものです。ご意見いただいた本市の独自性や特徴、まちづくり条例の中での学習の権利などは、次の3「本計画の基本目標」において記述していると考えています。</p>	<p>意見内容が計画に含まれていると考えられるもの</p>
2	P3 3 本計画の基本目標	<p>(1)花巻らしいオリジナリティがほしい</p> <p>・素案を読むと、花巻らしいオリジナリティがどこにあるのか、見えてこないのが残念である。できたらもっと色濃く花巻らしさが前面ににじみ出るような目標にしてみたらすばらしいのではないか。</p>	<p>本市のオリジナリティは、本市が目指す将来都市像「市民パワーをひとつに歴史と文化で拓く 笑顔の花咲く温か都市 イーハートブはなまき」に集約されていると言えます。本市は多くの先人を輩出してきた風土、そして学び受け継がれてきた歴史と文化、更にはまちづくり基本条例における生涯学習の権利など、これらの特徴を記して、生涯学習による「人づくり」が、本市のまちづくりを支え発展に導く大きな力と表現しているものです。</p>	<p>意見内容が計画に含まれていると考えられるもの</p>

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の 該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への 反映状況等
3	P3 3 本計画の基本目標	<p>(2)人生80年時代から90年、100年時代のまなびのビジョンと仕組みづくり</p> <p>・現下の生涯学習を支えているのは成人層のなかでも高齢者と女性だが、とくにも近年は、75歳以上の高齢層が学びの主体として確実に層を増してきている。ということは、これまで人生80年時代の学びから、しだいに人生90年、100年時代を視野に入れた学びの時代に入ってきているということです。しかし現実には、80、90歳代は社会的弱者として福祉の対象であり、生涯学数の対象としては見られない傾向があったのではないかと。</p> <p>・シニア大学同窓学院の例を挙げるまでもなく、同学院の在籍者の平均は80歳となっている。なかには米寿を迎える受講者も増えつつある。このような現実をみると、生涯学習行政もそろそろ人生90年、100年時代にむけた新しいまなびの仕組みづくり、制度づくりが必要になってきているという認識が必要ではないか。つまり社会的弱者から、社会を担う主体者としての高齢者像を明確に打ち出していくような目標を掲げてはどうか。</p> <p>・その一例として先に紹介した任意の生涯学習団体である「シニア大学同窓学院」を、今後、任意団体からシニア大学のような公的な生涯学習団体として位置付けていくよう一考してはどうか。</p>	<p>ご意見のとおり高齢者の学びの場づくりはますます重要になると思われます。そのような中で、自主的自立的な学びの活動は、自ら学ぼうという生涯学習の精神にふさわしく、既に任意団体やサークル活動として行動している団体は、当然その活動を奨励し支援していくべきと考えます。高齢者の学習機会や活動支援については、需要にあわせてどのような仕組みが良いのか常に検討をしていくことも含め、2 基本施策、1 生涯学習機会の充実の中で、「ライフスタイルや年齢層等に応じた多様な生涯学習機会の提供に努め」「市民の自主的な生涯学習活動を支援します。」と記していると考えています。</p>	<p>意見内容が計画に含まれていると考えられるもの</p>

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の 該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への 反映状況等
4	P3 3 本計画の基本目標	<p>(3)学習の成果を社会に還元していく仕組みづくりをどうするのか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習機会の提供はもとよりのこと、学習の成果を社会に還元していくことは生涯学習にとっても重要なこと。その指摘は理解できるが、いま生涯学習者が求めているのは、ではどのようにして社会還元していけばいいのかということである。社会貢献したくてもその方法と機会がわからないのが課題である。 ・その一例だが、シニア大学に入っていればこそ、社会貢献活動のチャンスが与えられ、たくさんの学生達が社会貢献活動に参加している。このような仕組みがあるからこそ、貢献意欲も出てくるし成就感や達成感も味わえる。 ・貢献したくないのではなく、貢献したくなるような仕組みづくりと活動の場があれば、やってみたいと思っている市民も多い。したがってただ成果の還元は重要だというのではなく、もう一步踏み込んだ仕組みづくりへの提案・提言も示すべきではないか。 	<p>「2 基本施策 1. 生涯学習機会の充実」本文に、下記のとおり追加修正します。</p> <p>「学んだことを発表する機会を設けるとともに、学習成果を生かした講師活動や社会活動を支援し、学習成果が適切に生かされる社会の実現を図ります。」</p>	左記のとおり表記を追加
5	P6 4 本市生涯学習の現状と課題	<p>(1)合併後、地盤沈下してしまった旧町の生涯学習活動の再生をどのようにして図っていくか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧町時代の生涯学習拠点施設は軒並み閑古鳥が鳴いている。この急激な激変の要因はどこにあるのか。かつては旧町民の心のよりどころであった拠点施設では、意欲的な学習が展開され、賑わいが満ちていた。それはまさに「町民力」であり、生涯学習のチカラであり、地域の活力にもなっていた。言ってみれば、「社会教育力がまちづくりのバロメーター」になっていたのである。 ・合併後10年になるが、この10年の歩みを通して、総合支所管内(旧町)の社会教育活動が地盤沈下していった要因をいまいちどきちんと分析した上で、今後どのようにして、かつてのような生き生きとした社会教育活動を再生していくのか、そのあたりの課題意識とあるべき対策にもふれていってはどうか。 	<p>地域によって生涯学習活動に差が生じないように、平成27年度から各総合支所の地域支援室担当職員を増員して対応してきました。28年度以降も職員を配置して引続き支所単位の生涯学習事業を行っていきます。また、振興センターでの生涯学習事業は、より地域事情にあわせた事業実施ができるようにコミュニティ会議が主体となって行う方向ですが、市の職員が支援をしていくとともに、各地域の連携を図りながら格差が生じないように努めていきたいと思います。また、職員の専門性を高めるために「職員研修事業」を実施します。この点についてP9の基本施策の中で記述しています。</p>	意見内容が計画に含まれていると考えられるもの

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への反映状況等
6	P6 4 本市生涯学習の現状と課題	(2)「学習」関連機関とのネットワーク構築のハブ機能を果たす施設のあり方 ・とくにも市内の中心的な生涯学習拠点施設であるまなび学園が学習関連情報の収集や紹介機能をもつことはもちろんのことだが、とくにも今後、重要となってくるのが、「学習」関連機関とのネットワーク構築のハブとなる機能をどのように果たしていくのかということである。 このような観点はどこにも見当たらないが、今後大変重要になってくるので、その見直しについてふれておいたほうがいいのではないかと。	生涯学園都市会館は生涯学習の大きな拠点施設であり学びの情報や紹介、相談機能の中心となっています。今後その役割は高まって行くと考えられますが、ハブ施設を強化するという考え方もあるとは思いますが、市としては、市生涯学習交流課や各総合支所の生涯学習担当、石鳥谷生涯学習会館とが連携をとって情報のネットワーク化を図ることによる総合的な取組体制を構築することが大切であると考えます。更には、教育委員会や県の生涯学習推進センターとも広く連携して取り組んでいきたいと考えており、推進する際には幅広く連携して進めていくこととしています。	—
7	P6 4 本市生涯学習の現状と課題	「事業を実施します。」に続く1. 2. 3項の末尾を下記右辺に訂正する。 1. 提供が求められています。→提供。 2. 強化が求められています。→強化。 3. 支援が求められています。→支援。	課題に取り組むことを明確にする意味から、ご意見の通り表記を修正します。	表記を修正
8	P9 (1)多様なニーズ・ライフスタイルに応じた講座の開設	⑤で「博物館や美術館」とあるが、4/11頁のアンケートによると「0.8%」と利用率が最低である。そこで講座のPR活動と共に土日祝日のバスの便を4便から講座の時間にあつた時間帯を増やすことを要望する。	バス路線については、民間バス事業者との協議や花巻市公共交通計画全体の中での検討が必要ですが、ご意見いただいたとおり講座等のPRに加えて、バス事業者との協議の際に検討されるように担当部署と協議します。	質問要望等として対応
9	P1 2 計画の位置づけ	下段のチャートにおいて 生涯学習に関する三本柱として、「生涯学習の推進」は図示されているが他の二本柱の「青少年の健全育成」と「国際交流」を図示されていないので図示願いたい。	ご指摘のチャート図は、花巻市総合計画、花巻市教育振興基本計画の中の、この計画の位置づけを表示したものであり、施策の三つの柱については、P7計画の体系図で図示しています。	—
10	P1 2 計画の位置づけ	7行目後段 3「人づくり」分野の他の施策、→ 中の施策 となるのでは？	前段文書からのつながりから、次のとおりわかりやすく「分野の中に掲げる他の施策」に表記を修正します。	表記を修正
11	P1 2 計画の位置づけ	8行目 項目番号は、3～4行目のように1「子育て環境の充実」を3-1「子育て環境の充実」、以下省略3-2、3-4、3-5と表示になるのでは？	ご意見のとおり表記を修正します。	表記を修正

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への反映状況等
12	P4 3 基本計画の目標	下段のチャートにおいて 最下部に「生涯学習基本計画の基本目標」とあるが、どんな基本計画ですか？	本計画のことで。表記誤りであり、「基本計画」を「振興計画」に修正します。	表記を修正
13	P5 4 本市生涯学習の現状と課題	全体的に分量が少なく感じられます。前期計画では8ページにわたって記述していますが、第2期計画の1ページ半ではあまりにも少なすぎます。もう少しきめ細やかに描く項目ごとに小見出しをつけて表記願いたい。	前計画は多分野にわたる内容の計画であったことにより。今回の計画では現総合計画における位置づけに合わせ生涯学習に関する部分についての計画とし、強化すべき点を明確にして推進するよう要点を絞って記述しているものです。	—
14	P5 4 本市生涯学習の現状と課題	前計画を総括した中から課題が見えると思いますが、もうすこし、前期計画の総括がほしいです。特に、組織の推進体制はどうであったのか。	組織の推進体制については、現計画では「総合計画委員会による総合的、計画的推進」と位置付けられていますが、新しいまちづくり計画が策定されたことにより、生涯学習の位置付けが変わったことと、よりわかりやすく進めるためにこのように記述したものです。	—
15	P5 4 本市生涯学習の現状と課題	下から4行目 講座を開いたり親睦交流すれば課題が解決するなど、甘いものではありません。事業の自由度を高めるために地域が主体となったほうが効果的だと記述していますが、いったい自由度とは具体的にどういう状況を指すのでしょうか？	例えば地域の親睦交流事業と講座を連携させるなど、地域が自由に地域の実情にあったやり方をした方が効果的な場合もあると考え記述しているものです。親睦交流活動の開催も地域の活力維持に重要な役割を果たす大切な活動であると考えています。	質問要望等として対応
16	P5 4 本市生涯学習の現状と課題	下から3行目 「生涯学習について、平成28年度以降、各コミュニティが主体となって実施していきます。」と断言し記されていますが、この項は28年度の事業対策を記述する項目ではないと思います。ここは、現状と課題を記す項目と解釈しています。	平成28年度は、各コミュニティが主体となり、市も支援、または共催しながら事業を実施していく方向で協議を進めてきていますが、「各コミュニティが主体となって実施していく予定です。」と修正します。なお現状として重要な動きであり欠かせない記述と考えています。	表記を修正
17	P5 4 本市生涯学習の現状と課題	平成29年度以降は、生涯学習についての予算措置はゼロとなり、地域づくり交付金で事業を実施する方針とのようですが、「必ずしも生涯学習を実施しなくても良い。コミュニティ会議の判断だ」との裁量の幅があるやの声を聞きますが、事実でしょうか？もし事実なら、この第二期の生涯学習計画の目標は達成されるのでしょうか？	29年度の交付金の額は28年度に事業実施していく中で検討をしたいと考えており協議を進めてきたところです。既に地域づくり交付金の中でコミュニティ会議が主催して生涯学習事業を行っているものもあり、地域においては市が一律の生涯学習事業を行うのではなく、各コミュニティの実情にあった事業を行った方が地域の活性化に資すると考えています。	質問要望等として対応

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の 該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への 反映状況等
18	P5 4 本市生涯学習の現状と課題	市のバスはコミュニティ会議の生涯学習事業には一切貸し出さないとのことですが、中央で行う事業、例えば、まなび学園や各総合支所で行う生涯学習事業にも貸し出さないのでしょうか？山野草教室、交流事業、視察研修などに大きな影響を与えていると思います。市バス貸出の基準は？公平に扱ってほしいと思います。	コミュニティ会議が主催する平成28年度生涯学習事業で市と共催の事業については、市のバスを運行することで各コミュニティ会議と確認をしています。	質問要望等として対応
19	P9~12 主な事業	箱の中の新しい事業名に、「新」かアンダーラインなどで、新規事業とわかる表記をお願いしたい。	現行事業の中で強化していくものが多く必ずしも新規と表記できないことからそのままの表記とします。	—
20	P13 3 国際交流の推進	(2)国内交流事業の推進が、どうして国際交流の範疇に入るのですか？	国内友好都市との交流活動を通して人格形成や異なる文化への理解を深める目的から生涯学習に分類されているもので、花巻市総合計画の分類により含むものです。なお、現行の計画にも含まれています。	質問要望等として対応
21	P14 第4章 主な成果指標	前計画では、44の事業に目標数値を入れた成果指標としていたが、第2計画ではわずか3つの事業だけとなっているが、どうしてこんなに少ないのか？目標を数値で表していればこそ、担当部署等はやる気が喚起されるのではないのでしょうか。	本計画の位置づけが、まちづくり総合計画の中の「人づくり」分野の部分計画という位置づけに変わったこと、また、「4 本市生涯学習の現状と課題」にも記述いたしましたが、必ずしも数字では計れないものも多いという意見から、わかりやすい目標数値を3つに絞って設定したものです。なお、この3つの指標は総合計画に基づき公募市民も含めて行う行政評価の指標にも一致するものです。	—
22	P15 第5章 計画の推進	1推進体制は、図示してわかりやすくしてほしい。	推進体制が複雑でなく、全てが連携、協力して取り組んでいこうとする並列的なもののため、文章による表現の方が伝わりやすいものと考え、このようにしてものです。	—
23	P15 第5章 計画の推進	2進行管理は、具体的数値のない中で、進行管理はかなり難しいと思います。	計画推進のための事業の実施状況等について点検評価することで進行管理を図っていきます。また、社会教育委員による評価を行うとともに公募委員を含めた市事業の行政評価も行っていきます。	—

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の 該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への 反映状況等
24	全体を通して	<p>この計画により実施した事業は、点検、検証、評価をして、花巻市社会教育委員会議に諮るわけですが、生涯学習は本来、教育委員会の管理の下で実施すべき事業です。教育委員会から切り離し、市長部局の事業としたところから計画の整合性に無理ができてるように見えます。</p> <p>1ページにあるとおり教育基本法第3条として、生涯学習の理念が述べられています。また、同法17条には教育振興基本計画にも、「生涯学習の推進」を謳っています。生涯学習は限りなく教育関連事業というべきです。</p> <p>よって、元に戻して教育委員会管理の下、生涯学習は行うべきと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>また、当局は各振興センターに社会教育主事等の有資格者(正職員)を配置し、専門的技術的助言を得ながら生涯学習活動に熱意を見せる必要があると思うがどうか?検討する余地がないか伺います。</p>	<p>地域の公民館はかつて地域の社会教育の拠点でしたが、公民館が地域づくりを担う振興センターとして整備、コミュニティ会議が組織され、自分たちの地域を自分たちで考える、自主的な地域づくり事業の推進拠点としてスタートしました。市民参画と地域づくりの新たな視点の中で、生涯学習活動をさらに後押しする考え方で、市長部局が生涯学習部門を担ってきたものです。県内の各市も北上市をはじめ奥州市、一関市、八幡平市など、同様に市長部局へ移行してきており、地域の活力を維持していくためにも、地域づくりにおける生涯学習活動の重要性が増していると考えています。</p> <p>生涯学習事業における専門的・技術的な助言と指導を担う社会教育主事は、現在、本庁の生涯学習交流課に配置しており、必要に応じて各振興センター事業に対する助言などを行ってきたところであり、今後も対応を継続していきたいと思いますが、職員の研修とともに地域の人材育成にも取り組んでいきたいと考えています。</p>	質問要望等として対応
25	全体を通して	<p>今まで市の職員が活動しても、生涯学習事業の利用者が年々減ってきているのは、各振興センターに派遣されてくる担当職員に前向きに活動させるような、意欲がわくような指導が不足していたことも一因ではないかと思えます。地域の行事は土曜日、日曜日に実施されます。それにつきあうだけでも1人職場は休みが中々取れないんです。家庭サービスを優先すれば、「あの職員は地域に非協力だ」といわれ、一方では家族からは「仕事優先で家族を顧みない」こんな中で意欲がわきますかと聞きたいです。どうですか?</p> <p>担当者は、この現実を直視しなければなりません。</p>	<p>合併時点から市職員数が大幅に減少している状況の中で、各振興センターに配属した職員が全ての事業に関与していくことは大変困難な状況だったと思います。</p> <p>平成28年度からは、各振興センターへの市職員の配置はなくなりますが、地域と連携しながら各コミュニティへの支援を継続していきたいと考えています。</p>	質問要望等として対応

第二期花巻市生涯学習振興計画(素案)パブリックコメントによる意見と市の考え方

(別紙)

No.	計画案の 該当箇所	意見要旨	意見に対する市の考え方	計画素案への 反映状況等
26	全体を通して	また、地域のことはコミュニティ会議がふさわしいと結論づけて、生涯学習事業を実施させたいようだが、にわかにコミュニティ会議の担当者を1、2回研修したところで、うまくいくとは思えません。これまで、市議員やコミュニティ会議に説明してきているようですが、コミュニティ会議への生涯学習事業の実施要請は見合わせるべきと思うがどうですか？	平成28年度からコミュニティ会議が主体となって実施することについては、各コミュニティ会議と協議を進めてきました。振興センターでの生涯学習講座は、地域の活性化に密接な関係がある地域づくり事業の側面があるとともに、地域が主体となって実施することにより、事業の自由度や効率性も高まるなど、より地域の特色を生かした生涯学習事業の展開が可能になるものと考えています。なお、平成28年度は今年度並みの事業ができるように市の職員が支援していきます。	質問要望等として対応